

# **令和 2 年度茨城県計画に関する 事後評価**

**令和 4 年 1 1 月  
茨城県**

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業		
事業名	【No. 1-2 (医療分)】 病床機能転換等促進事業 (病床削減分)	【総事業費】	0千円
事業の対象となる区域	県内全保健医療圏		
事業の実施主体	医療機関		
事業の期間	令和2年4月1日～令和8年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了		
背景にある医療・介護ニーズ	2025年必要病床数に対応する医療提供体制の整備を進めていく上で、過剰な病棟・病室を削減することが必要。 アウトカム指標：病床機能報告制度による報告数と2025年必要病床数の差分の縮小。 現況値 2,954床過剰 (H30年度) → 目標値 0床 (R7年度)		
事業の内容 (当初計画)	・医療機関の事業縮小に伴い不要となる病棟・病室を他の用途へ変更するために必要な施設整備・備品購入に要する経費に対して補助。		
アウトプット指標 (当初の目標値)	・補助活用による削減病床数 534床 (R2～R7)		
アウトプット指標 (達成値)	年度	削減医療機関数	削減病床数
	R2	0	0
	R3	0	0
	合計	0	0
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： (H30) 2,954床 → (R2) 3,165床 (211床) (H30) 2,954床 → (R3) 2,931床 (△23床)		
	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>医療機関が実施する将来過剰になると想定される病床の削減に伴って不要となる病棟・病室を他の用途へ変更するために必要な施設整備・備品購入に要する経費に対して補助することにより、急性期から回復期、慢性期に至る一連のサービスを地域において提供する体制の整備を促進させるものである。</p> <p>今年度は、医療機関から補助の要望がなかったため、実績なしとなったが、今後は、県ホームページ等で事業周知を図り、過剰な病床の削減を促していく。</p>		

	<p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>本事業の実施により、急性期から回復期、慢性期に至る一連のサービスを地域において提供する体制の整備を進めていく。</p> <p>今年度は、医療機関から補助の要望がなかったため、実績なしとなったが、今後は、メールやホームページ等を通して、効率的に医療機関へ周知を行い、過剰な病床の削減を促していく。</p>
その他	

事業の区分	2. 「居宅等における医療の提供」に関する事業	
事業名	【NO.2-5 (医療分)】 在宅医療推進事業	【総事業費】 80,318 千円
事業の対象となる区域	全保健医療圏	
事業の実施主体	茨城県（茨城県医師会へ委託）、郡市医師会等	
事業の期間	令和2年4月1日～4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	在宅医療の需要増加に対応するため、提供体制を強化する必要がある。 アウトカム指標： 看取り数※ 93.5人(R1)→99.4人(R2)→105.7人(R3) ※人口10万対比	
事業の内容（当初計画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア推進員を県医師会に配置し、在宅医療を実施する医師の掘り起こしを行うとともに、在宅医療の参入促進を図るための医師等に対する研修会を実施。</li> <li>・在宅医療を提供する診療所等が行うグループ化に要する経費への補助。</li> </ul>	
アウトプット指標（当初の目標値）	グループ構築数 30か所(R1)→39か所(R2)→48か所(R3)	
アウトプット指標（達成値）	グループ構築 30か所(R1)→40か所(R2)→40か所(R3)（±1か所）	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： 看取り数※ 93.5人(R1)→95.8人(R2)→117.1人(R3) ※人口10万対比</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b> 複数の医療機関が連携（グループ化）し、相互に補完することで、在宅医療に参入しやすく、切れ目のない体制を構築していく。 グループ化した医療機関が在宅で診る患者数は、グループ化前後で約3割増加した。引き続きグループ化を進め、在宅医療を推進する郡市医師会等の取組みを進めていく。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 県医師会に地域ケア推進センターを設置し、推進員が医療機関への戸別訪問を行う等、グループ化や在宅医療推進の取組みを支援していく。</p>	
その他		



事業の区分	2.居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO.2-6 (医療分)】 地域ケア推進事業	【総事業費】 50,559 千円
事業の対象となる区域	全保健医療圏	
事業の実施主体	市町村	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、高齢者のみならず、全ての要援護者に対し、医療・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される茨城型地域包括ケアシステムを構築する必要がある。</p> <p>アウトカム指標： 看取り数※ 93.5人(R1)→99.4人(R2)→105.7人(R3) ※人口10万対比</p>	
事業の内容（当初計画）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアコーディネーターの配置に要する経費の補助</li> <li>・在宅医療を提供する事業所等の新規開設又は取組拡充に伴う医療機器等の整備に要する経費の補助</li> <li>・市町村等が行う地域包括ケア推進に資する住民サービスを提供する拠点整備に要する経費の補助</li> </ul>	
アウトプット指標（当初の目標値）	多職種参画による地域ケア会議開催市町村数 26市町村(R1)→44市町村(R2)→44市町村(R3)	
アウトプット指標（達成値）	多職種参画による地域ケア会議開催市町村数 43市町村(R3)	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： 看取り数※ 93.5人(R1)→95.8人(R2)→117.1人(R3) ※人口10万対比</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b> 地域ケアコーディネーターが要支援者に対し、多職種の関係者間でサービス内容を検討することで、個々のニーズに即したサービスの提供が可能となった。 また、在宅医療を提供する事業所への医療機器等の整備支援等により、在宅医療体制が向上し、人口10万人比看取り数も増加傾向にある。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 市町村に対し、地域ケア会議等の地域ケアシステムの現況調査を行い、必要に応じて指導・助言を行った。</p>	
その他		

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業							
事業名	【No. 3-1 (介護分)】 地域密着型老人福祉施設整備推進事業 老人福祉施設開設準備経費助成事業	【総事業費】  600,320 千円						
事業の対象となる区域	県内全高齢者福祉圏							
事業の実施主体	茨城県							
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了							
背景にある医療・介護ニーズ	<p>高齢化が進展する中、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を継続的に営めるよう、地域の特性に応じた、多様で柔軟なサービスの提供が可能な介護サービス拠点等の基盤整備を図る。</p> <p>アウトカム指標：地域密着型サービス施設等の定員総数及び施設数を増加させる。</p> <p style="text-align: right;">R3 末                      R5 末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型介護老人福祉施設 (1,247 床→1,305 床)</li> <li>・認知症高齢者グループホーム (5,042 床→5,273 床)</li> </ul>							
事業の内容(当初計画)	<p>①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: right;">58床 (3か所)</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td style="text-align: right;">床 (1か所)</td> </tr> </tbody> </table>		整備予定施設等		地域密着型特別養護老人ホーム	58床 (3か所)	小規模多機能型居宅介護事業所	床 (1か所)
整備予定施設等								
地域密着型特別養護老人ホーム	58床 (3か所)							
小規模多機能型居宅介護事業所	床 (1か所)							
アウトプット指標 (当初の目標値)	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス施設等の整備等を支援することにより、下記目標に向けて地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。</p> <p>【いばらき高齢者プラン 21 計画期間：令和3年度～令和5年度】</p> <p style="text-align: right;">R3 末                      R5 末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型特別養護老人ホーム                      1,247 床 → 1,305 床</li> <li>・特別養護老人ホーム                                      16,359 床 → 17,059 床</li> <li>・介護老人保健施設    11,718 床 → 11,878 床</li> <li>・介護付き有料老人ホーム                                  3,795 床 → 4,024 床</li> <li>・認知症高齢者グループホーム                              5,042 床 → 5,273 床</li> </ul>							
アウトプット指標 (達成値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型特別養護老人ホーム    1,247 床    48 か所 (R3 年度末)</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所    13 か所 (R3 年度末)</li> <li>・特別養護老人ホーム                      16,309 床    234 か所 (R3 年度末)</li> <li>・介護老人保健施設                          11,698 床    130 か所 (R3 年度末)</li> <li>・介護医療院                                      208 床        5 か所 (R3 年度末)</li> </ul>							

